

星のたより

2025(令和7)年
10月号
Vol. 373

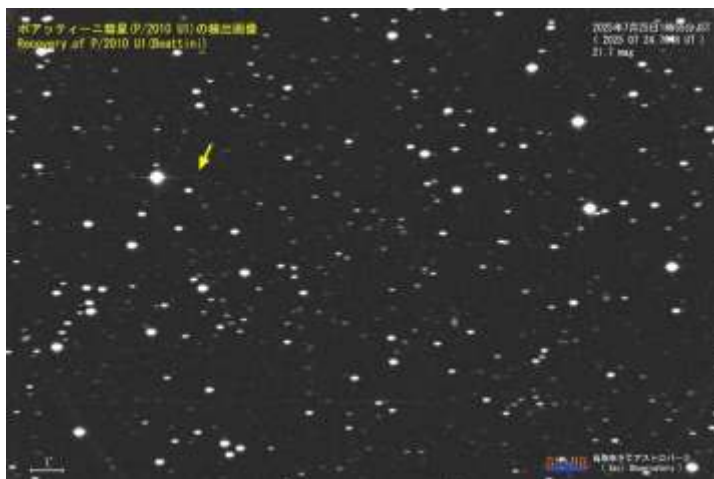
ボアッティーニ彗星 P/2010 U1 の検出 ～今回帰 世界初観測～

2025年8月12日、国際天文学連合天文電報中央局から発行された『CBET 5590』によると、鳥取市さじアストロパークで2025年7月25日に観測した彗星が、ボアッティーニ彗星 P/2010 U1 (Boattini) の今回帰世界初観測であると報じられました。

この彗星は2010年に発見され、周期16年半で太陽のまわりを回っています。2011年12月を最後に観測が難しい状態（太陽からの距離が遠くなったことで彗星活動が弱まり、暗くなって地球から観測できなくなった）となっていました。

再び太陽に近づくと観測できるようになりますが、これまでの観測期間が短いため、計算から予想される位置の精度が悪く、場合によっては再観測されることなく、行方不明となる場合もあるのです。今回検出されたことで、軌道がより正確に計算できるようになり、以降、行方不明になる可能性が小さくなるでしょう。

鳥取市さじアストロパークにある103cm反射望遠鏡のパワーと星取県の美しい星空、そして織部学芸員の地道な観測の結果が実を結んだものです。なお鳥取市さじアストロパークでは、これまで5つの彗星の検出に成功しています。今回は6例目の検出となりました。



☆今月の豆知識☆
□ グラン展示となっている「さじアストロパークコレクションシリーズ①」。もうみんな見たかな？ 登録博物館となったさじアストロパークが30年間とりだめた「天文現象」の記録を展示しているんだよ。人気の日食や月食以外の珍しいものもあるし、映像の記録も館内でも上映中だよ。



さじアストロパークのホームページはこちら



「星のたより」はこちらから

イベント★耳より情報

☆内容や日程が変更となる場合があります。
公式ホームページで最新情報をご確認ください

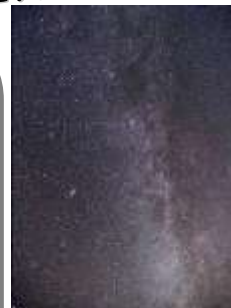
☆期間展示☆さじアストロパークコレクションシリーズ①「天文現象」11月30日(日)まで
1994年7月オープン以降、これまでに起こった様々な天文現象の写真などを展示

☆プラネタリウム☆ 第1部 専門職員によるライブトーク
第2部 テーマ番組「ゆるり星空めぐり 星のいろいろ」
9月18日(木)～12月14日(日)

☆夜間観望会☆ ☆10月のテーマとおすすめ情報

月を見てスマホで撮影しよう	3(金)
最果ての惑星・海王星	10(金)～12(日)
スマホで天の川を撮ろう	17(金)、18(土)、24(金)、25(土)
環のない土星	31(金)
観望会で月がよく見える	1(水)～4(土)、30(木)、31(金)
観望会で満天の星が楽しめる	12(日)、13(月・祝)、15(水)～18(日)、22(水)～26(日)

☆10月の休館日 6(月)、14(火)、20(月)、21(火)、27(月)



※イベントの詳細やその他の情報はさじアストロパークのホームページなどを参考にしてください。

1. プラネタリウム ☆平日は3回、土日祝は4回投影しています

前半は専門職員による当日夜の星空生解説、後半はテーマ番組投影の2部構成です。テーマ番組は定期的に変更しています。

★前半の当日夜の星空解説

星座の探し方を中心に当日夜の星空を専門職員が語り紹介します。

★後半のテーマ番組

秋のテーマ番組【ゆるり星空めぐり 星のいろいろ】

※星の色々な秘密と魅力をゆるりにご案内します。

投影期間：9月18日(木)～12月14日(日)



2. 103cm大型望遠鏡での夜間観望会（天体観察会）

月明かりの有無や空の状態により、当日の見ごろの天体が異なります。金曜日と土曜日の事前予約は不要です。その他の曜日については、個人の方はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は曜日にかかわらず1カ月前までにご予約ください。



10月の星座と観察天体より

☆ みずがめ座

太陽の通り道（黄道）にある誕生星座たちは、重要な星座のためその歴史は古く、プトレマイオスの48星座に登場しており、みずがめ座もその一つです。星座の誕生地であるメソポタミア地方に雨季が訪れるころに太陽がこの星座を通過します。そのため、みずがめ座のほかにもこの近くには、水にちなんだ星座がいくつかつづられています。



みずがめ座には、大きな水瓶を肩にかついだ少年の姿が描かれています。この少年は、大神ゼウスがオリンポスの国で神々のお世話役にと、ゼウス自身が大きなワシの姿になって連れてきたトロイの美少年ガニメデスです。みずがめ座のラテン語「Aquarius（アクエリウス）」には水男の意味があり、英名ではWater Bearer（水運び人）、またはWater Man（水男）とよばれていますが、日本では「水瓶をかつぐ人」のような人名ではなく、「みずがめ座」と瓶のほうで呼ばれています。

☆ アンドロメダ銀河・M31（アンドロメダ座）

M31

秋の星雲や星団がみられるようになってきました。そんな秋の代表天体のひとつがアンドロメダ座にあるM31です。月明かりのない空の澄んだ夜空では肉眼でもその存在がわかります。私たちの銀河系と同じ渦巻銀河で、2000億個以上の恒星の大集団です。大きさは銀河系の2倍ほどの大きさがあります。見かけのサイズも大きく、103cm望遠鏡ではアンドロメダ銀河の中心部の観察と視野をはみ出してしまいます。距離は約250万光年で、すぐ隣に小さな銀河が寄り添っています。



月特集

空が高くなり空気が乾燥して、月がきれいに見える季節です。星を見るときには邪魔な存在ですが、たまには月をのんびり眺めてみるのはいかがでしょうか。

中秋の名月



中秋の名月は、旧暦の8月15日の夜に見える月（十五夜）をいいます。秋分の直前の新月を8月1日として、そこから15日目（14日後）が中秋の名月となります。今年の場合は、9月23日が秋分、その前日の22日が新月です。その15日後の10月6日が十五夜、中秋の名月となります。今年満月の前日です。十五夜は別名「芋名月」といい、里芋などの芋類の収穫を祝う行事です。また、ススキや萩を飾り、月見団子を供えて見る月もまた風情のあるものです。また、旧暦9月13日にお月見をする「^{のち}後の月（十三夜）」があります。今年は11月2日です。中秋の名月と後の月、セットでお月見をしてみたいですか？

スーパームーン

最近話題となっている(?)スーパームーン。これは、月の見かけの大きさが1年で最も大きくなった月をいいます。月は地球の周りを楕円軌道^{たえんきどう}で公転しています。地球と月の距離は、約36万 km から約40万 km まで変化します。月が地球にいちばん近づいた時に満月であればそれが1年で最も見かけの大きな月「スーパームーン」となります。ただ、肉眼で大きさの変化はわかりません。今年は11月5日(水)の満月がスーパームーンです。



イベント情報

さじアストロパークでは「月まつり」を行います。

日 時：10月4日（土） 17：00～21：45

参加費：大人（高校生以上）500円

小人（小中学生）200円

(イベントで利用できる100円券付き)

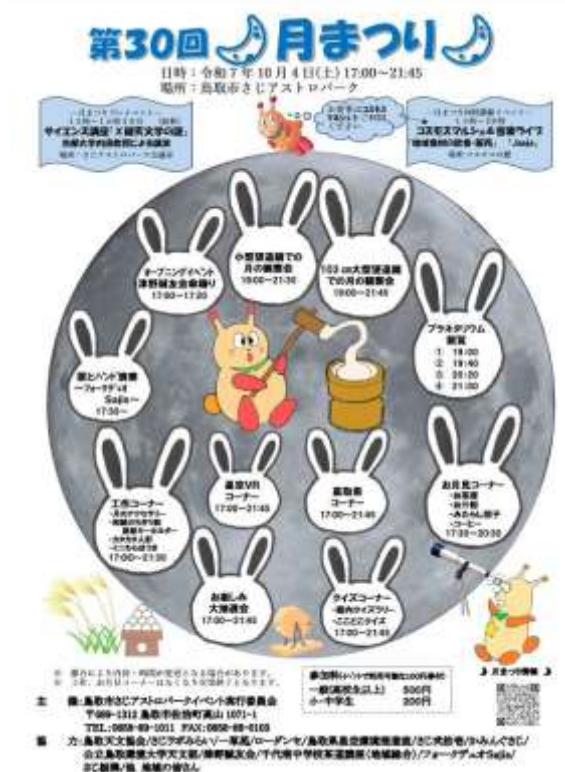
当日は、クイズコーナーや望遠鏡での月の観察、お茶席、プラネタリウム投影などがあります。

是非ご参加ください。

鳥取市さじアストロパーク
鳥取市佐治町高山1071-1
TEL0858-89-1011

鳥取市佐治町高山1071-1

TEL 0858-89-1011

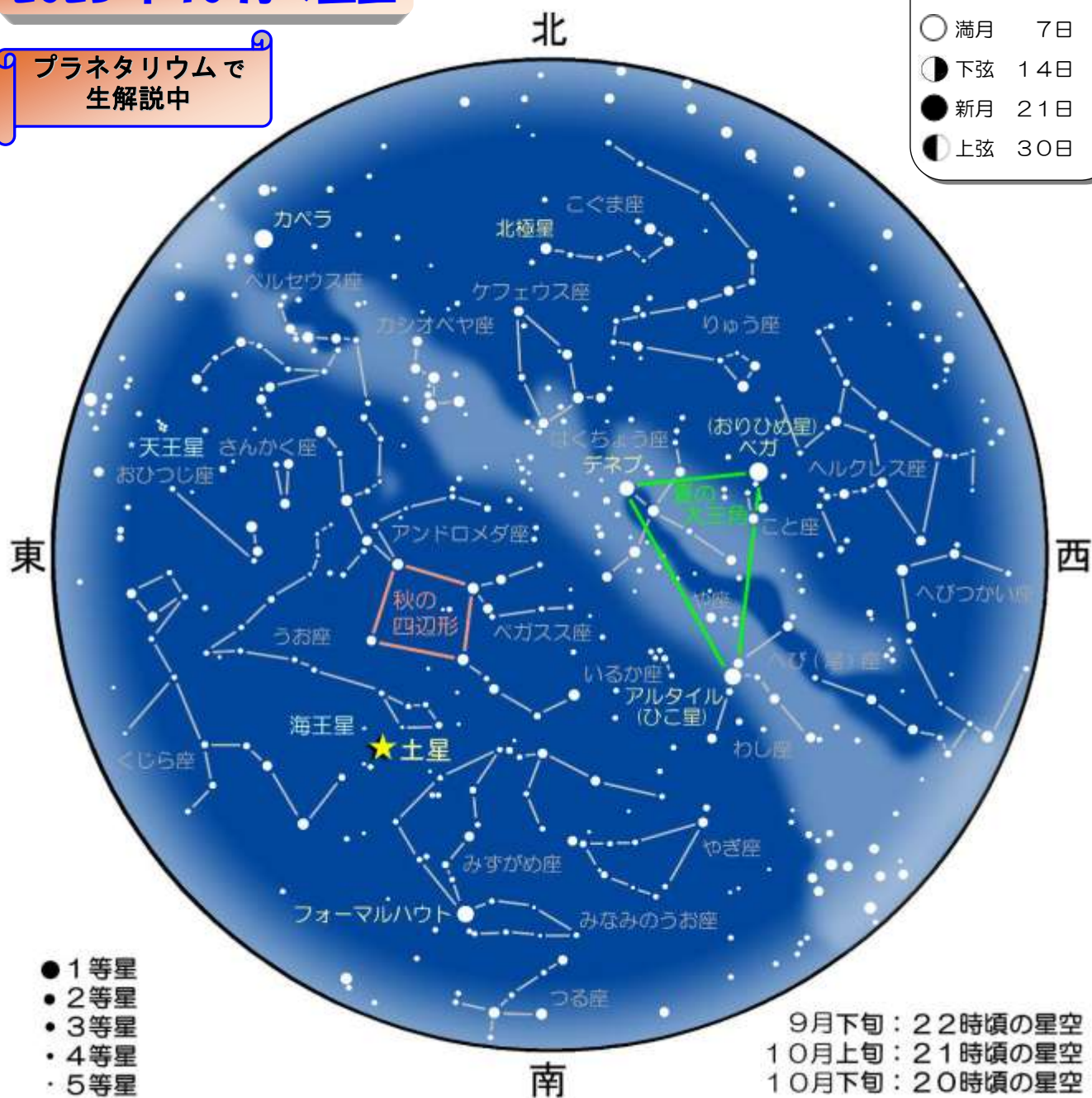


2025 年 10 月の星空

プラネタリウムで
生解説中

10 月の月の暦

- 満月 7 日
- ◐ 下弦 14 日
- 新月 21 日
- ◑ 上弦 30 日



☆昼間は暑いですが夜は肌寒くなってきました。山の方はさらに冷えるのでアストロパークへ来るときは冬物の上着やひざ掛けがあると安心です。

☆星空ではちょうど夏の星座たちと秋の星座たちが半々になっていますね。西の空では「夏の大三角」を探しましょう。「ベガ」と「アルタイル」を結んで南の方に伸ばしていくと少しへこんだ三角形の「やぎ座」が見つかります。2等星と3等星でできる「秋の四辺形」を目印にして空高く上った「ペガサス座」を探してみましょう。明るい星が少ない南西の空では輪の薄くなった「土星」と秋の星空唯一の1等星「フォーマルハウト」がひとときわ輝いてみえます。東から北の空には「アンドロメダ座」「ペルセウス座」「カシオペア座」「ケフェウス座」と古代エチオピア王家の物語の登場人物が勢ぞろいですね。



さじアストロパーク

検索

プラネタリウムや観測会の時間、休館日、宿泊の予約など詳しい情報については[ホームページ](#) & [Facebook](#) でチェック。Youtube、インスタも開設。

鳥取市さじアストロパーク

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1

TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103

e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp